

# 考えよう 子どもの貧困と学習支援

貧困に苦しむ子どもが、日本にもたくさんいます

「子どもの貧困」は大きな社会的課題ですが、家庭全体が社会から孤立していることが多いことから周囲から見えにくい状況があります。

日本の子どもの貧困率※は16.3%

ひとり親家庭の子どもの貧困率は54.6%  
2人に1人は貧困

「何をすればよいのだろうか？」の問いかけから「生きづらさを抱える子どもたちへのサポート」への一歩につなげるために何ができるのか考えてみましょう (※2012 厚労省調査)

※「貧困率」・・・相対的貧困率

世帯収入から子どもを含む国民一人ひとりの所得を仮に計算し、順番に並べたとき、真ん中の人の額(中央値)の半分(貧困線)に満たない人の割合。子どもの貧困率は、18歳未満でこの貧困線に届かない人の割合を指す。今回の調査では中央値は244万円、貧困線は122万円だった。(2013 国民生活基礎調査)

## シンポ 「子どもの貧困と学習支援のとくみ」

報告

①日野貴博さん

(学習支援ボランティア団体 Atlas 代表 など、2011年立命館大学学生の時から生活保護受給世帯等の子どもたちの学習支援をはじめました)

②鎌田ユリさん

(私立高校スクールソーシャルワーカー、登校拒否・不登校問題全国連絡会世話人・滋賀民研事務局員 など)

場所：滋賀大大津サテライト (JR 大津駅前 日生ビル4階)

どなたでもご参加できます。参加費 500 円 (会員 無料)

6月3日(土) 午後3時~午後5時

主催

滋賀県民主教育研究所

〒520-0052

滋賀県大津市朝日が丘 1-11-3

教育文化会館 2F

TEL&FAX : 077-525-5364